

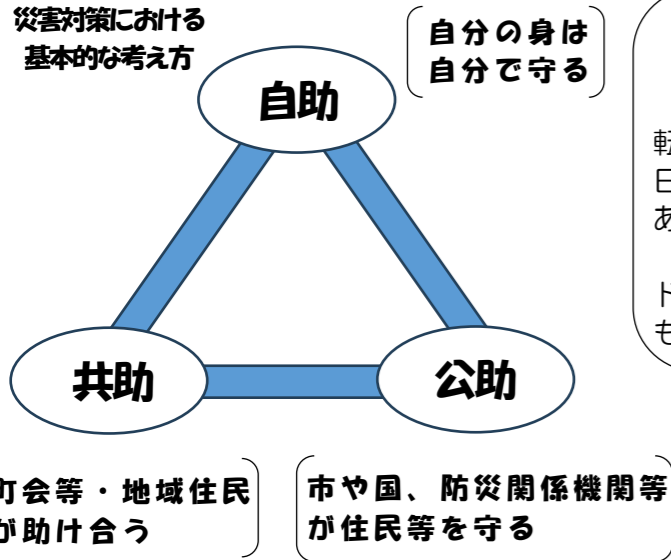
防災の取り組み



災害を防ぐためには、一人ひとりが災害に対する心構えを持つことが必要です。災害は「まさか」ではなく、「いつか起こるもの」という意識を持って防災対策に取り組みましょう。

町会合同の消防訓練や学校区のまちづくり協議会・富士見市共催の防災訓練などさまざまな取り組みが行われている中、今回は関沢2丁目東町会「防災を考える会」の主な活動にスポットを当ててみました。

災害対策における基本的な考え方



町会は共助！
自分で身を守る自助！
自助での備えとして、家具の転倒防止、備蓄品、通電火災、日ごろの備え、安否確認の話がありました。
ポータブル電源、エアベッド、ソーラーランタン等の紹介もありました。

関沢2丁目東町会「防災を考える会」

人口 1,645 人が暮らす地域において、活発な町会活動を行っています。とりわけ防災については、日頃からの訓練を重視し、非常時に的確に行動できる体制づくりに努めています。

本会は平成 25 年 8 月 13 日に「自主防災会」として発足し、防災に関するさまざまな取り組みを検討・実践する中で、「防災を考える会」として活動を推進しています。



災害発生時における安否確認訓練

訓練日や詳細は回覧板にてお知らせします

- ①災害本部を、ハケ上公園に設置
- ②当日 10 時～玄関先の見えやすい場所に下記安否確認用品をおいてもらう (各世帯)

③安否確認タオル



④安否確認ドアノブハンガー



または

※どちらも各世帯に配布してあります。

- ③班長が確認に回り、③・④のいずれも出ていない世帯には直接安否確認を行う
 - ④町会役員が班長宅へ確認に行き、安否確認できない世帯に再度行く
 - ⑤避難行動要支援者の方へ民生委員が安否確認に行く
- ※常に本部と連絡を取り合うことが大切！（トランシーバー等を使用）

炊き出し体験・・・(雨天決行)

町会の防災用品を利用してかまどで備蓄米を炊き、おにぎりと豚汁を作りました。カレーなどを作った時もあります。災害を考えゴミを極力出さないよう、皮をむかない具材もありました。備蓄米もおいしく炊け、好評でした。

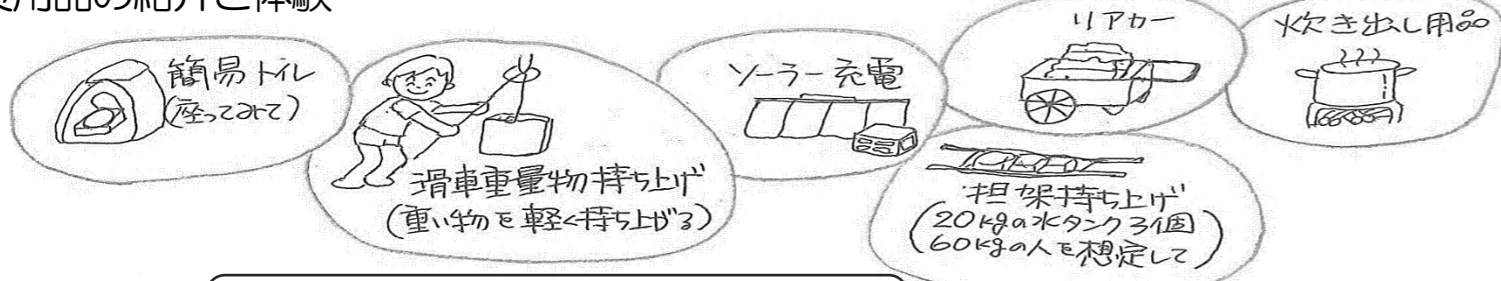


結びとして、災害はいつ起こるかわかりません。だからこそ日ごろからさまざまな状況を想定し、体験を通じた訓練を積み重ねていくことが大切だと、改めて感じました。

防災倉庫見学会(ハケ上公園に2棟あり)

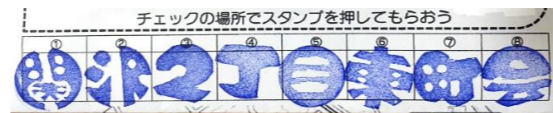
町会の防災倉庫に何が収納されているのか、多くの方に知ってもらうため、防災倉庫見学会と防災用品体験会を実施しています。

防災用品の紹介と体験



備蓄品・救助用品
テーブル・テント・機材などたくさんの物が倉庫にあるよ
品物が一目でわかるよう壁にも可動式の棚も設置してるよ

「町会地域を知り、防災機材を体験しよう」と町会内にチェックポイントを設け、地図を片手にスタンプラリーをしながら下記の体験もできるよ！



手作りスタンプでチェックを確認！



防災倉庫見学会の様子



道路上の消火栓確認(11カ所あります)

鶴瀬西交流センターからの施設利用に関するお知らせ

- 令和8年4月1日利用分からの使用料改定に伴い、施設利用にあたり下記のとおり変更します。
- 4月1日から利用変更を「7日前まで」から「1日前(土日祝、休館日の場合は前平日)まで」可能とします。※ただし変更は、原則1回までとします。
- 6月1日申込分から予約システムの利用対象を拡大し、市内個人の利用について、団体要件を満たさないが、設置目的内の活動(営利等でない)であれば、通常料金で施設の利用が可能となります。※ただし抽選申込はできません。また、利用受付も利用日の1カ月前の1日からとなります。

詳しくは、市ホームページをご確認ください。

